

学校だより —その7—



都立千歳丘高校

新の速さと高価なことによる新たな高額の投資問題、開業の困難さを伴って来る。このような状況で例え同科の後継者がいてもなかなか開業に携われないで苦労されているようだ。

現在は22学級規模であるが、最大規模の時は、都立の中でも大規模校の中に入り、30学級という時もあった。卒生徒の減が大きく影響している。

今春の入試は、都立として久しぶりの単独選抜で実施。高校進学について中学校でも予想しにくい状況や先々の事を見通して、私立单願、進学の傾向も強くなり、応募時一・七倍であったが、入学手続きはほぼ定員並となつた

ドームのある高校 のびのびと自由な校風

オーストラリアやインドネシアからの留学生受け入れや、帰国子女にとどても勉学しやすいよう土台は出来ている。生徒会を中心に国際交流活動の一環として、韓国の高校との作品交換、教師研修も進めている。

生徒会クラブ

ク	陸	上	柔	道	・	写	真
	サッカ	ー	剣	道	・	茶	道
	ラグビ	ー	体	操	・	プラスバンド	
	硬式野球		バドミントン	・	演	劇	
ラ	バスケット(男女)		テニス	・	環境科学		
	バレ- ^(男・女)		水泳	・	美術		
ブ	ワンダル		自然科学	・	マイコン		
	アマ無線		音楽				
漫	画	・	放	送			
同好会		ダンス・映像研究					

区内の傾向をみると、診療所（ベッド数20床以下をいう）数は、平成元年度七〇ヶ所を最も低く、4年度には七二四ヶ所となつて、若干増加しているものの、大勢をみるとやや微増というところ。一方、病院は36ヶ所（平成2年）で変わらない。

こうした診療所や病院の数では、昭和40年代以降ほとんど変わらない状況にあるが、特に診療所関係のお医者さんたちの抱えている大きな問題は、開業医の後継者問題が重くのしかかっている。最近の高地価、高度医療機器の更

発行：編集委員会
編集責任者：板橋昇
事務局：船橋出張所内
☎(3482)0341
1994年3月 N.O. 45

体の健康を保つことは人生最大の重要な課題。栄養のこと、体力のこと、ストレス解消策など、昨今、関心はますます強まっている。ところで、健康だと信じていた人が急に重い病気を患ったという場面にもしばしば出会う。安心して毎日の生活を過ごし、働くためにも、医師、診療所、病院はもつとも大切な支えとなっている。

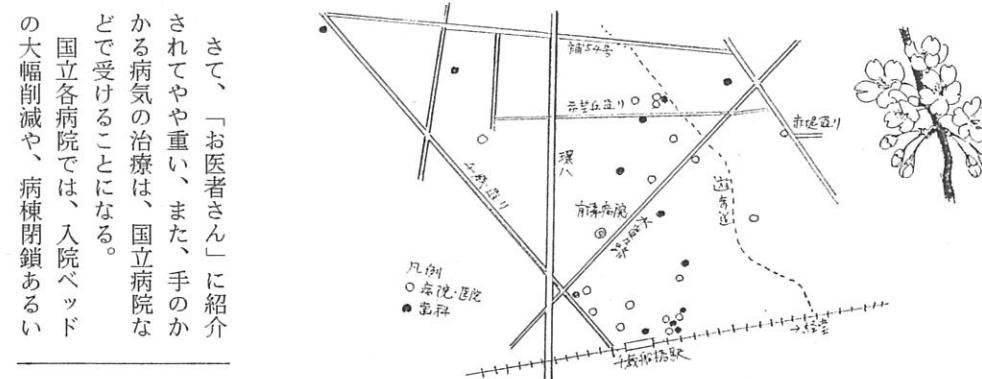
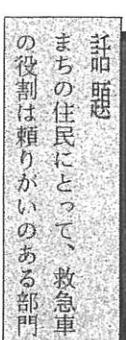
「まちのお医者さん」の役割は地域医療、保健、福祉の要をなしている。地域住民の高齢化が急速に進んでいる現在、「まちのお医者さん」の活動が充分になされる条件整備は早急になされなければならないのではないか。

は休棟などが具体的に進みつつあるという。まちでは信じられない事態が進行中だ。現在でも看護婦が不足しているため、空きベッドがあつても入院の受付を断らなくしてはならない状況も生まれようとしているとのことだ。

地域医療センター、住民の健康保持、高度医療による難病の治療に国立病院としての役割をもつと



成城消防署管内の昨年一年間の出動回数は、四、七六七回、うち急病二、六一〇回(55%)、今年に入つて一月、二月の回数七九一回。特徴的なことは、やや増加傾向にある。【K・M】

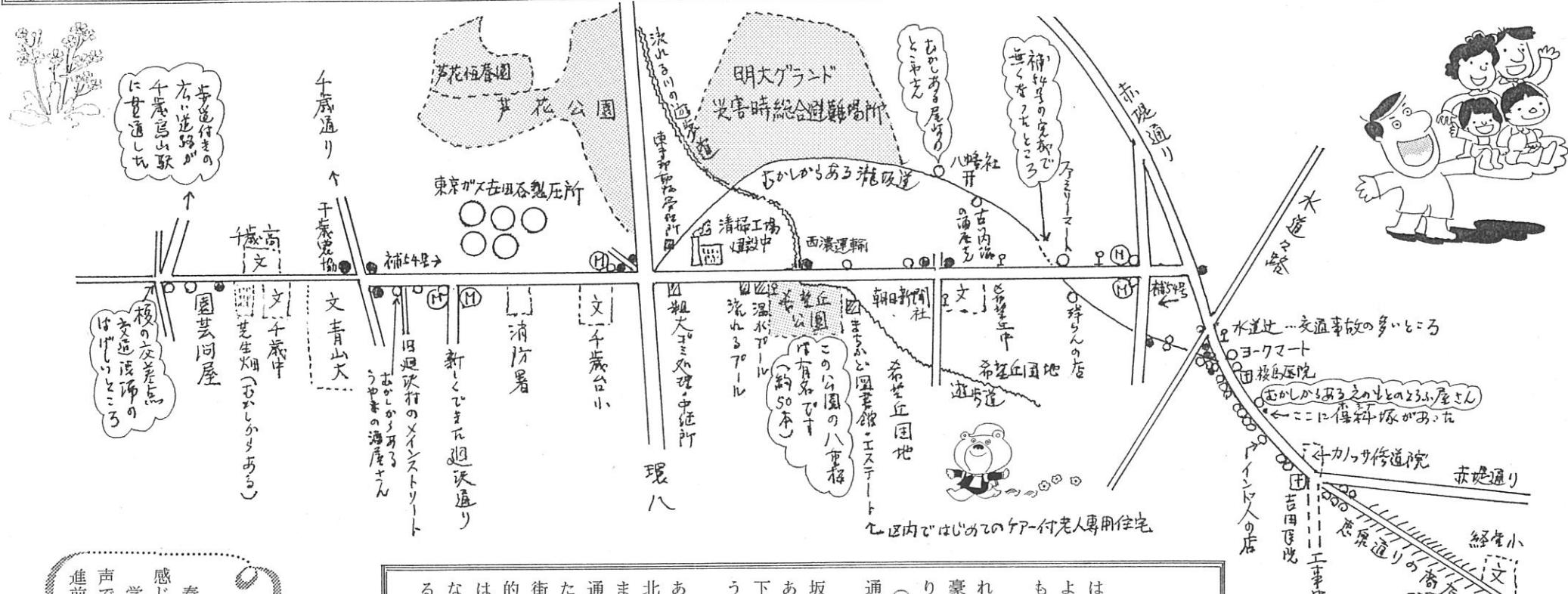


新しくなった道

赤堤通りから千歳通りにぬける都道補助54号線は希望丘土地区画整理事業でできた道である。希望丘中があるところに、農協短大があった、補助54号線はその運動場を二分して貫通した。

朝日新聞社や西濃運輸、温水プールがあるあたりは田んぼで

あった。環八から西は、ほとんど畠の中に造られた補助54号線である。補助54号線から南に延びる新しい道、例えば廻沢通りなど、区画整理でできた道が殆どである。東京ガス前のマテバシイ、温水プール前あたりのプラタナス、希望中の寒ツバキの並木が季節をよびます。

地域めぐり
瀧坂道を歩いてみたら!!

編集後記

春の訪れと共に、さわやかな日々を感じていらっしゃることだと思います。学校の小鳥達も、公園の野鳥達も大聲でさえずっています。深呼吸して前進前進!

T・S

現在は東京都が管理している都道である。昭和30年代までこの道を経堂駅北にある石綿商店横のバス停から仙川まで、京王バスのポンネット型バスが通っていた。一時間一本ののんびりしたバス道であったが、道中が狭い商店街ではトラブルが絶えなかった。歴史的に由緒ある甲州街道脇往還のこの道は、いま往時をしのばせるものは殆どない。時代と共に変貌した瀧坂道である。

江戸を中心に、地方に向かう「道」は五街道をはじめとして、これに沿うように脇街道も発達していた。瀧坂道もその一つである。起点はおそらく道玄坂あたりと思われる。道玄坂→松見坂→淡島→若林→豪徳寺→経堂→すずらん通り→恵泉通り→安穏寺→祖師谷→仙川→甲州街道(キューピーマヨネーズ工場脇)へと通じていた。

仙川甲州街道との接続の場が急な瀧坂であったので、この名がついたのであろう。江戸へ向かうときは「青山道」下るときは「瀧坂道」と呼んだであろう。

瀧坂道

- | | |
|-----|-------|
| ○ | 店 |
| ● | 会社 |
| (M) | マンション |
| ■ | バス停 |